

令和5年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した九州農政局管内の4地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が2地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、重点指導の要因となった目標値に関する取組が実施され、目標の達成状況が改善されたことから、重点的な指導、助言等が必要でない状況となった。

(A評価:60% C評価:40%)

3. 各地区の評価結果

5件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
九州	福岡県	みやま市	みやま市6次化推進地域協議会	▲	●	●	● ■ ▼	▲	▲	▲	▲	A	実施体制は、おおむね整備されており、主要な取組及び事業実績の目標もおおむね達成していることから、総合的な評価はA評価とした。
九州	福岡県	福岡市	小呂島しまづくり協議会	▲	▲	●	● ▼	● ■ ▼	△	▲	▲	C	主要な取り組みはおおむね計画どおりに実施され、実施体制も整備されているが、普及啓発・広報効果の拡大の測定指標である協議会HPのアクセス数については、目標を大幅に下回っていることから、総合的な評価はC評価とした。
九州	熊本県	南阿蘇村	地域資源を活かす会	▲	▲	▲	●	● ▼	○ □ △	▲	▲	C	事業実績は、目標指標の全てについてC評価であり、実施体制については、機能的に取り組める体制であるが、事業実績がC評価であることから、総合的な評価はC評価とした。

九州	鹿児島県	錦江町	錦江町地域活性化協議会					●	●	○ □			A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績は目標を達成しており、実施体制も3つの部会を設置し、役割分担と実効性を発揮する体制となっていることから、総合的な評価もA評価とした。
九州	熊本県	天草市	新和町地域活性化プロジェクト						●	○	○ □		A	主要な取組は、計画通りに実施され。事業実績の目標もおおむね達成し、実施体制も専門となる構成員を配置させ取り組む体制となっていることから、総合的な評価はA評価とした。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
 重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)
 (注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:松添直隆(熊本県立大学教授)
委員:須川一幸((株)地域振興研究所 代表取締役)、家入ひとみ(元熊本県職員)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和6年7月25日(木) 14:00～16:30 2 場 所 :熊本地方合同庁舎A棟10F 農政第6会議室 3 議事概要 ① 令和5年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和5年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和5年度に事業を実施した4地区の、取組概要、評価に関して説明し、質疑応答を行った。 4 主な意見 ・目標に対する事業実績が低い地域の所見を整理していただきたい。 ・取組内容が変更となった地区において、変更後の取組が目標に対する事業実績に結び付いていないので改善をすべき。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和6年8月20日(火) 13:15～15:15 2 場 所 :やまがBASE株式会社 クラスルーム 3 概 要 ① 第1回評価委員会における質問への回答及び令和5年度に事業を実施した4地区の評価案等に関して了承を得た。 ② 今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して了承を得た。 ③ 評価が低調と認められる地区への指導内容案に関して了承を得た。 4 主な意見 ・事業実施主体の構成員が真に事業に関わり、活動しているか確認が必要である。 ・計画の変更を行った場合も、目標には変更がないことから、その達成に向けた事業評価書を作成させる必要がある。(変更後実績が低調な事例がある) ・事業者により、事業評価書の記載内容に差があるように感じる。実績の自己点検を行い、目標未達成の理由、改善に向けた取組を整理することにより委員として助言等が可能となる。